

第6課 霊の結ぶ実は親切

安息日午後 「だれにでもできることです。親切は『動詞』です」(聖書研究ガイド 39 頁)。

「困っている人には、必ず声をかけることを、自分のルールにしてしまおう。地図を片手にキョロキョロしている人がいたら、『どちらまで?』、首をひねって、頭を掻いている人がいたら、『何かお困りですか?』、エレベーターでは『何階ですか?』と。自分の決まりごととして、ただ援助を申し出るのである」(内藤誼人)。

日曜日 親切の模範(マタイ 5:43~48)

Q. 敵を愛し、迫害者のために祈る秘訣は?

- A 1. 今与えられている重荷から主のお力によって始めます。神様は耐えられない試練は与えられません。
- A 2. 愛すること、祈ることは、感情ではなく、選択と決断です。
- A 3. イエス様の呼びかけに応えるとき、神様から力をいただきます。手のなえた人が手をのぼすのに、イエス様の呼びかけが必要であったように、私たちが敵を愛するには、主の呼びかけが必要です。

Q. 敵を愛し、迫害者のために祈ることをイエス様が招かれている理由は?

- A. 親としての神様がその方を命をかけてお愛しになっているから。

Q. 「完全」な者になるとは?

- A. 「完全」とは、イエス様を模範とした全人的な回復の過程を意味します。既に救われた者として、回復について無頓着であってはなりません。神様によって回復がなされることに希望と信仰を持ちましょう。

月曜日 「死んだ犬」への親切 サムエル記下 9:1~13

Q. ダビデの親切はどのような親切ですか?

- A. 契約にもとづく親切です。ダビデはヨナタンを友として、ただ感情的に愛していたのではなく、サウルの子らを断つことはないという契約にもとづいて、その愛を示しました(サムエル記上 20:14、15 参照)。私たちも、神様からそれ以上の強い愛と、確かな契約の親切を受けています。滅びるしかなかった私たち(「死んだ犬」同然)が恵みによって救われました。

Q. ルカ7:47 はどんな原則を示していますか?

- A. 多く赦された者が多く愛する。私たちは日々罪を告白して、罪を赦していただくなら、それによって多く赦され、イエス様を多く愛します。同時に他者に親切にする心が育まれます。

火曜日 親切な言葉(エフェソ 4:32)

Q. クリスマンが親切を特に示すべき人たちは誰ですか?

- A. 霊に弱い人たち。家族。教会に訪れる者の多くは初め、自分の満足を求めてやって来ます。変えられて、隣人の弱さを担うことを求めてゆくとき、クリスマンの喜びと生きがいが始まります。

水曜日 親切は返される(ルカ 6:38)

Q. 親切が返ってこないとき、どうしますか?

- A. 親切ができたこと、御言葉を行うことができたことを喜びます。

木曜日 親切を身に着ける(コロ 3:12~14)

私たちは、「神に選ばれ」た者です。神様がご自分の計画を私たちを通して実現しようとされています。また私たちは、「聖なる者」です。これには「切り離す」という意味があります。私たちは溶け込まなければなりません、異質でなければなりません。塩味を失ってはなりません。

「もし私たちが神の前にへりくだり、親切で、礼儀正しく、優しく、憐れみ深くあるなら、今は一人しかいないところに、真理に回心する人が100人はいるであろう」(『教会へのあかし』第9巻 189 ページ)。